

共に笑い会える場の楽しさ、当意即妙に言葉を考える知的な面白さを感じる機会となりました。 ねづっちとBちゃんの国語科出前授業「なぞかけライブショー」 11月5日(水)

本校では、外部人材の活用を積極的に行うことで、学習活動の充実を図っています。今回は、お笑いタレントの ねづっちさんとBちゃんさんを講師にお迎えし、11月5日(水)5時間目、国語科出前授業「なぞかけライブショー」を開催しました。



最初にBちゃんさんが登場、ギター漫談では、リズムの乗ったかけ声で巻き込みながら観客を元気にする、楽しい芸で楽しませていただきました。さらに、大道芸のコーナーでは、観客参加型の舞台をみんなで応援したり、Bちゃんさんのみごとな芸に驚かされたりと、思い切り大声で笑えるステージでした。

そして、いよいよねづっちさんによる「なぞかけライブ」です。テンポのよい漫談に続き、「なぞかけ」を披露していただきました。すぐに「おー!」となるものもあれば、「ん…あ、なるほど!」となるなど、言葉の意味を考えながら楽しむ面白さを体験しました。その後、生徒が授業でつくった「なぞかけ」を講評していただいたり、生徒からのお題に即興で「オチ」をつくっていただくなど、交流しながら「かけことば」の面白さを堪能、ねづっちさんの頭の回転のよさに驚きながら、その芸の凄さ、素晴らしさを実感しました。



今回の取り組みを通じて、共に笑い会える場の楽しさ、当意即妙に言葉を考える知的な面白さなどを感じることができ、人との関わり方や語彙について考える機会となりました。このたびは本校のため、大変お忙しいなか本校にお越しいただき、誠にありがとうございました。



本校ではこの3年間、“笑い”をテーマに、様々な方を講師にお招きした講演会を実施してきました。

令和5年度

国際理解講演会「大島希巳江先生の英語落語」

神奈川大学教授 大島希巳江 先生による、講演会と“英語落語”の実演。講演では次のようなお話がありました。

海外でのスピーチでジョークを交えるのは、聞き手を飽きさせない 相手を笑顔にする = 相手を大切するという意味があります。アメリカのユーモア学者の言葉にも、こんなものがあります。「ユーモアは相手への思いやり」。



令和6年度

道徳授業地区公開講座「オシエルズ」講演会」

“オシエルズ”さんによる、“人を傷つける笑い・傷つけない笑い”をテーマにお笑いライブ。講演では以下の言葉をいただきました。

- ・“笑い”は人のためにするもの、自分のためにするものは“ふざけ”である
- ・“楽しい笑い”とは、『相手とつながる』こと、『相手をうけいれる』こと



そして今回、令和7年度

国語科出前授業「ねづっちとBちゃんの『なぞかけライブショー』」

ねづっち さんに紹介していただいた「なぞかけ 基本の3カ条」の1つがこれでした。

- ・他人の「なぞかけ」をけなさない



最近、SNSやTVを観ていると、他人を馬鹿にしたり、おとしめたりすることで笑うようなものがあります。そこには「相手への配慮や思いやり、気遣い」がありません。本校の校訓は「品格」です。堅苦しく聞こえますが、別に難しいことではなく、その基本は「相手がいることを考えた言動」、それを“品がある”=「品格」というのではないのでしょうか。みなさんにはそうしたことの分かる大人になってほしい。今回の講演も、そうした思いも含めて、振り返ってくれと嬉しいです。